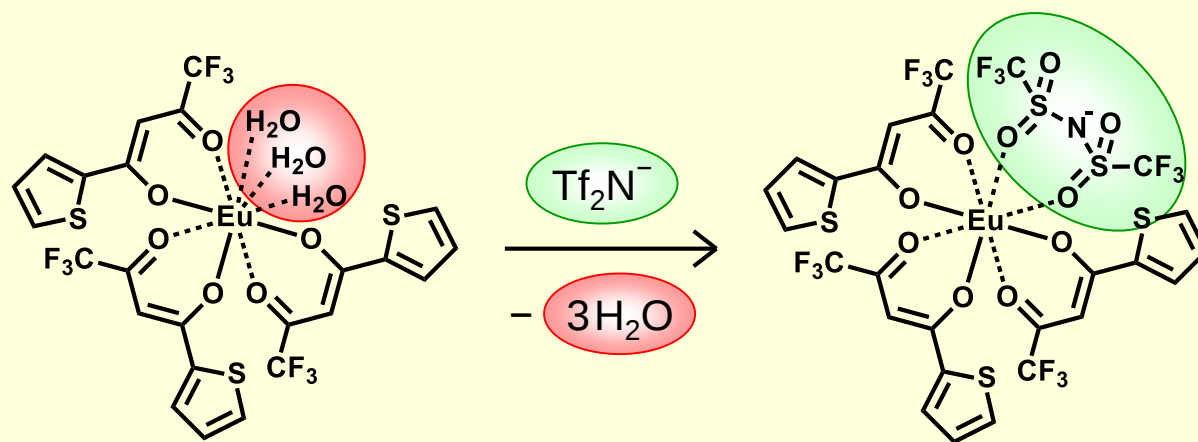
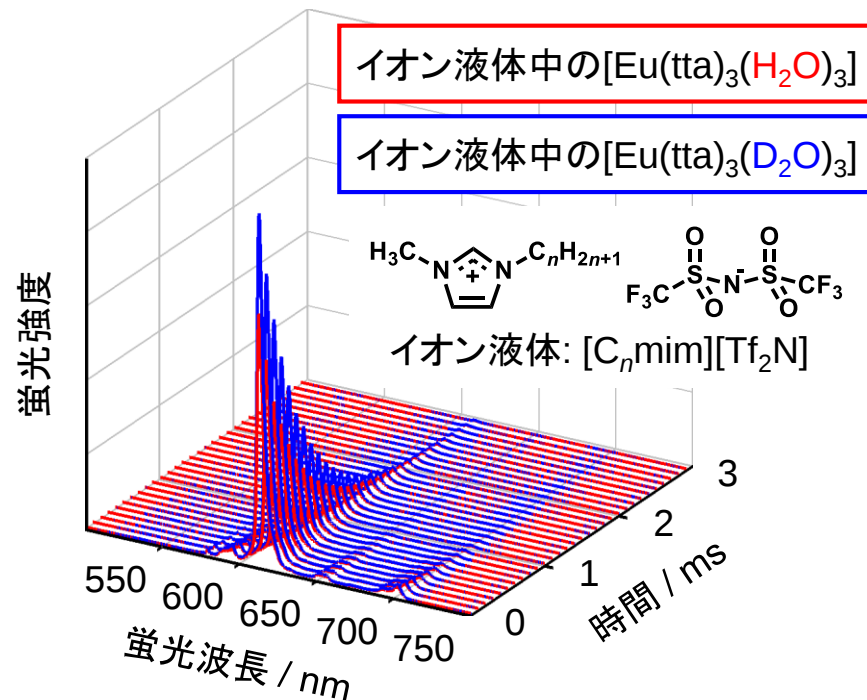


イオン液体抽出におけるEu錯体の溶媒和

研究背景:

近年、機能性溶媒としてイオン液体が注目されています。イオン液体を媒体とした溶媒抽出では、有機溶媒と比較して、金属錯体の抽出性が向上することが知られていますが、中性錯体についてはその理由が解明されていません。

そこで私たちは、イオン液体中における金属錯体の構造に着目しました。時間分解レーザー励起蛍光分光法(TRLFS)による水和数評価から、Eu錯体がイオン液体を構成するアニオンにより溶媒和されることで、中性Eu錯体の抽出性が大幅に向上することを明らかにしました。



(本研究は、金沢大学分析化学研究室との共同研究で実施しました。)